

一区長 二区長 三区長 四区長 五区長 六区長 七区長



横地民雄



高橋八郎



井口健司



奈良むつ子



佐藤紀八郎



引字滋



宮崎稔

長年一区の自治会活動を牽引してきた登坂区長の後任としてバトンを受け、今年度から一区区長を務めさせていただきます。横地区長と共々4年間副区長として自治会活動に携わってまいりましたが、区長というのは全く異質のものであり、異次元のものであると戸惑っています。

こんな時こそ、焦らず・急がず、自治会活動の原点である「隣人愛と相互扶助の精神」を基調とし、明るく住みやすい街を目指すことを目標としてやっています。

また、活動の一つの指針として「防災意識」を持って会員相互のつながりを深めていきたいと思っています。

昨年、台風・強風・大雨で現実に私たちの周りでも被災された方がいらっしゃいました。また、今年に入ってから、早々に新型コロナウイルスの感染拡大により生活環境が大きく変化せざるを得なくなりました。そして、最近では日本各地で地震が頻発しており、近い将来には大きな地震も予想されています。このような時こそ「防災意識」を軸として会員相互の繋がりを深め、現在休眠状態である一区防災会を形あるものにしていくと決意を新たにしています。どうぞ会員皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

お互い気軽に挨拶ができる二区へ
他区同様に高齢化率が高くなっていますが、若い世代も増え、活力があります。お互いに声をかけ合い「顔が見える区」を目指しましょう。

主な行事・事業
一、高齢者に対する平常時の見守り
三区の今年度の活動計画もどこまで実施できるのか見通しが立っていません。こんな時に自治会として何ができるのでしょうか。原点に戻って、近隣同士で助け合う機運を盛り上げることは出来ないものでしょうか。人と話をする機会が減ってしまっている今だからこそ、せめて挨拶だけでも遠慮せずに行いたいものです。適度な距離を取りながら、「おはようございます」と声を掛け合うだけでお互いが微弱な電波で通じたように感じ、心がなごみます。夏祭りをはじめとした自治会活動は表面的には止まっていますが、活動エネルギーは十分に溜まっています。困ったことが発生したときに先ずは、近くの自治会役員に声を掛けてみてくださいます。きつと何らかのお役に立てるはずですよ。

二、若い世代との協調
子供会と協力し合い、各行事への参加を通じ、交流の輪を広げていきます。

三、防災・防犯意識の共有化
夜間パトロール・青パトによる巡回の継続、区防災訓練、自治会防災総合訓練を含め会員個々の意識を高め、安心・安全な営みを目指します。

四、環境美化整備
会員総出の公園清掃の実施と、地域交流の場として安心して使える・遊べる公園にしていきます。

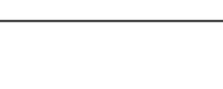
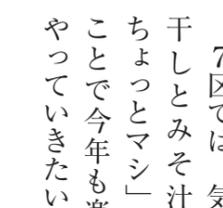
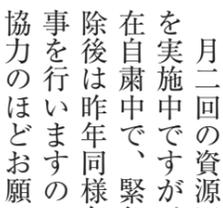
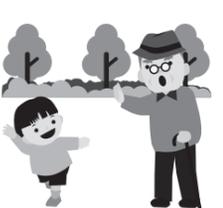
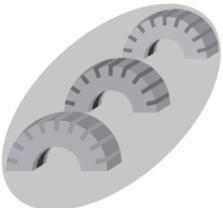
五、区民相互の親睦
餅つき大会・新年親睦会等々の行事を通じ、皆さんがいつまでも自治会員で良かったと喜ばれるよう努めていきます。

自治会としてできること
昨年のこれまで経験したことがないような風水害に続いて、今年度は、世界中のほとんどの人が思いもしなかった疫病が世界を混乱に陥れていいます。その結果、日本における経済活動が収縮してしまっています。

お互いの顔がわかる
住みやすい4区！
令和初めての年明けは、穏やかで暖かな日でした。昨秋は自然の怖さを思い知らされたので、今年度はきつと良い年になるのではと期待しました。

何が起るかわからない！
思いもしなかったコロナウイルス感染、目に見えないものに對する不安感、恐れに世界中が対峙することになりました。

私達も予定していた活動は感染拡大防止のため中止となります。行事の中止又は変更を余儀無くされています。



緊急事態宣言が一日も早く解除され皆さんと笑顔で接する時が訪れる事を願って止みません。

そんな中、
●環境部
公園・駐車場清掃 年八回
●子供会
月二回の資源回収を実施中ですが、その他は現在自粛中で、緊急事態宣言解除後は昨年同様各部活動、行事を行いますのでよろしくご協力のほどお願いいたします。

梅干しとみそ汁
コロナ禍で自治会の機能がマヒしたり中止になったりしました。でも、ある会員が「何も困らないよ。自治会は無くていいんじゃない！」と言っていました。確かに、どうしてもなくてはならないという事はなかったように思います。

でも、ずっとなかったらどうでしょう。食事を例にしますと、お腹がすいたときに梅干しとみそ汁だけでも空腹を満たすことはできます。でも毎日、3度の食事がこれだったら飽きてきますし、栄養バランスからいっても不足でしょう。またたまにはごちそうも食べたくなります。

自治会活動にはごちそうほどの立派さはないかもしれませんが、大きな期待をかける程のことをしているわけでもないでしょうが、きつと日々の生活の中のちよつとした一品程度の役割はあると思います。

会ったらあいさつをしたり、一緒に公園清掃をしながら他愛のないおしゃべりをしたりするといいことは、自分でごちそうを作っていることであり、心に栄養を与えていることなのではないかと思えます。

7区では、気張らずに「梅干しとみそ汁」だけよりはちよつと「マシ」という程度のことでも今年も楽しく元気にやっていきたいと思えます。